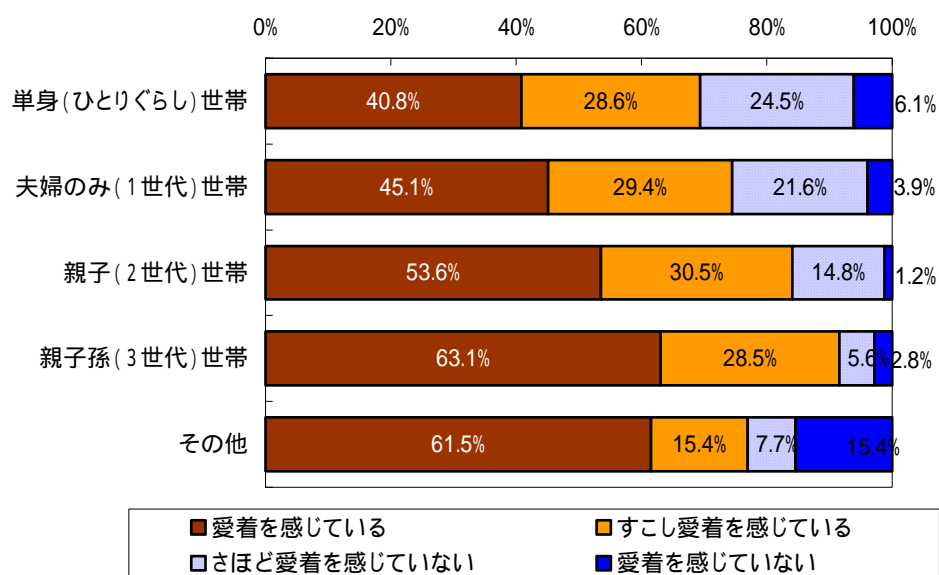


第7章 家族構成別クロス集計結果

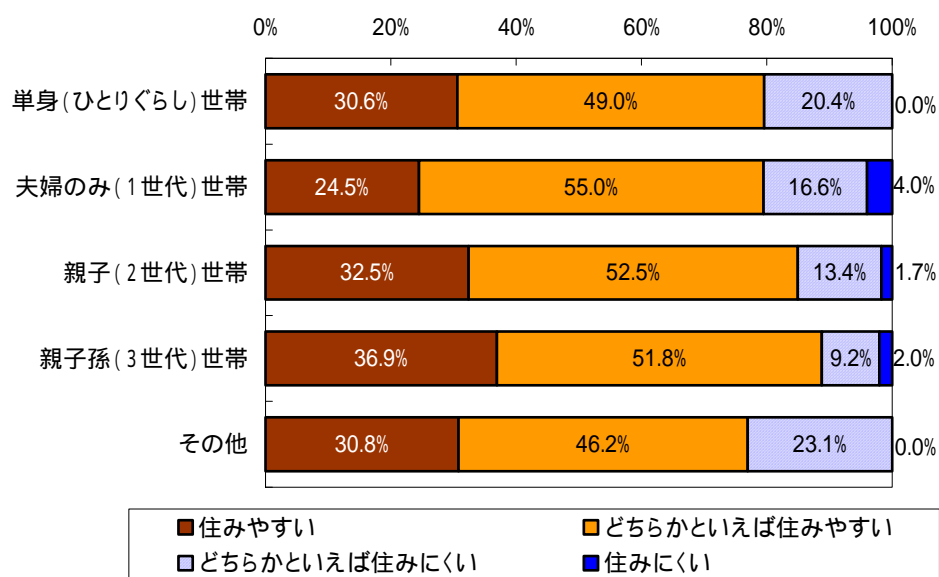
(1) 家族構成別クロス集計 問6「高根沢町に対する愛着」

「親子孫(3世代)世帯」は、「愛着を感じている」割合が最も高かった。家族の世代数が増えるにつれて、「愛着を感じている」割合が上昇する傾向がうかがえた。



(2) 家族構成別クロス集計 問7「高根沢町の住み心地」

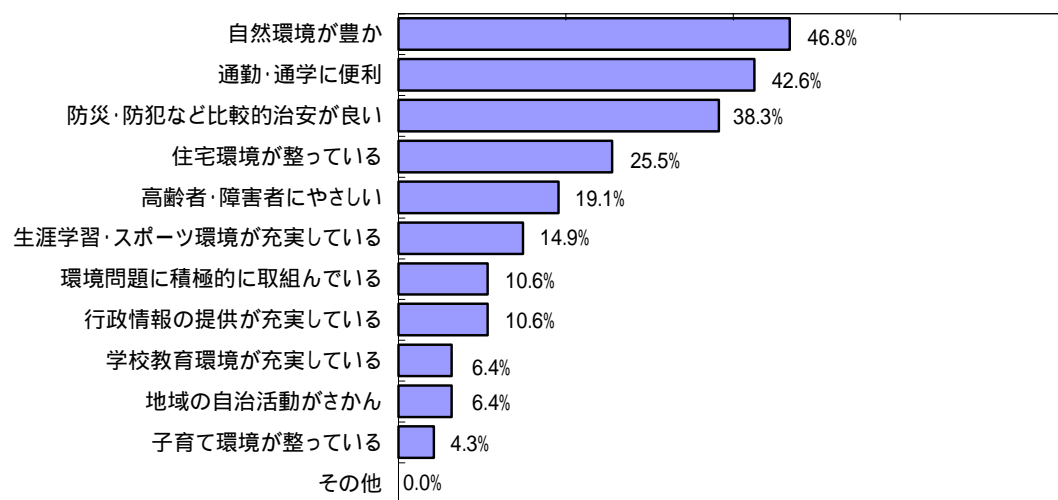
「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた肯定的な回答は、「親子孫(3世代)世帯」が最も高く約9割を占めた。家族の世代数が増えるにつれて、住み心地に対する肯定的回答の割合は、上昇する傾向がうかがえた。



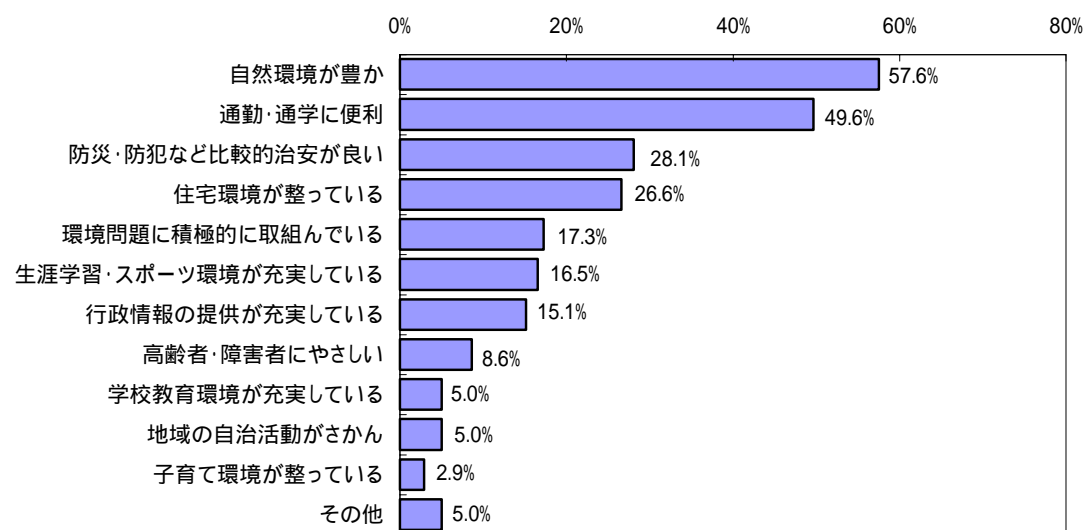
(3) 家族構成別クロス集計 問8「住み心地が良い点」

高根沢町に対する住み心地が良い点は、各家族構成とも「自然環境が豊か」が第1位回答であった。家族の世代数が増えるにつれて、「自然環境が豊か」の割合は、上昇する傾向がうかがえた。「単身世帯」「夫婦のみ世帯」「親子世帯」では、第2位回答は「通勤・通学に便利」であったが、「親子孫世帯」の第2位回答は、「防災・防犯など比較的治安が良い」であり、差異が見られた。

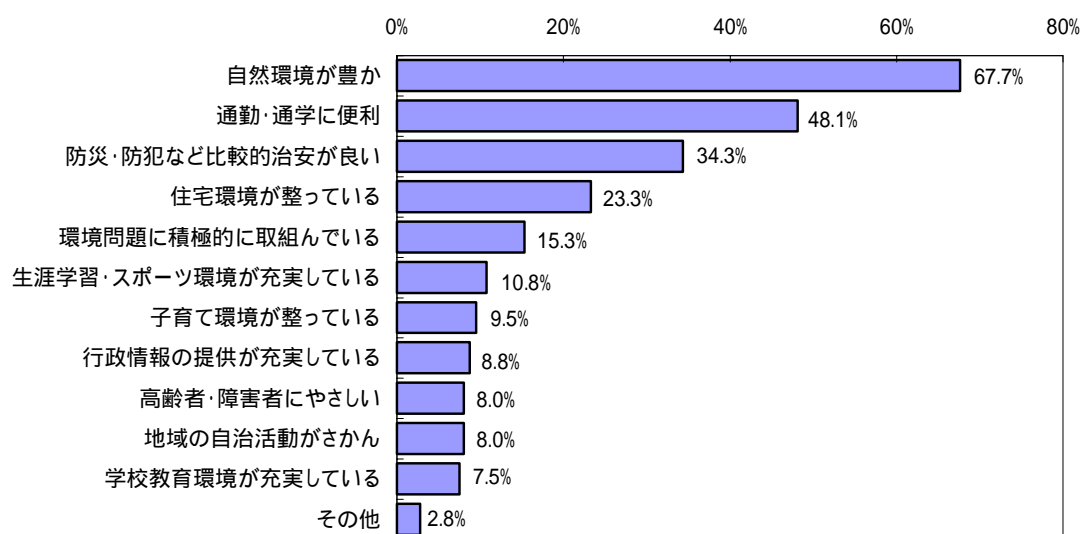
単身（ひとりぐらし）世帯



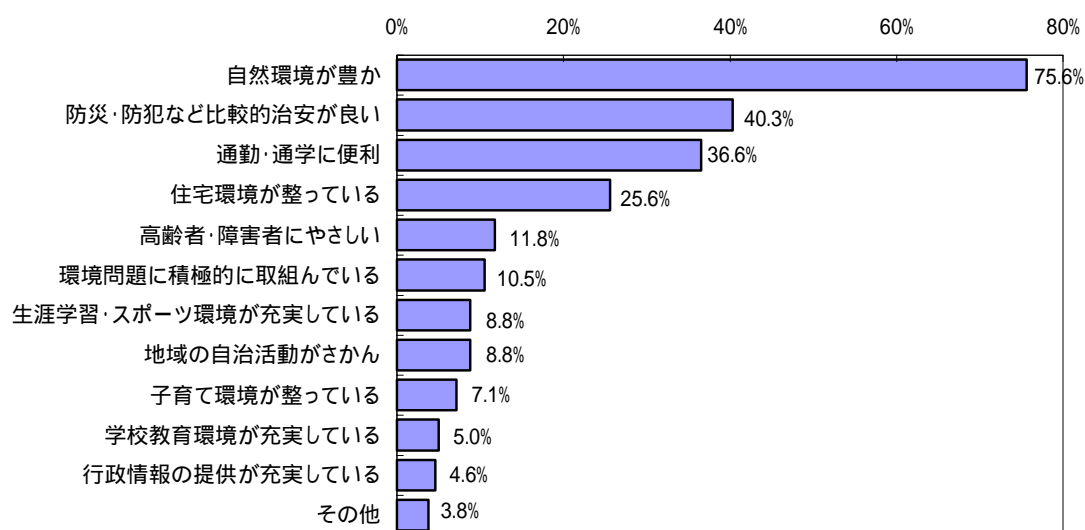
夫婦のみ（1世代）世帯



親子（２世代）世帯



親子孫（３世代）世帯

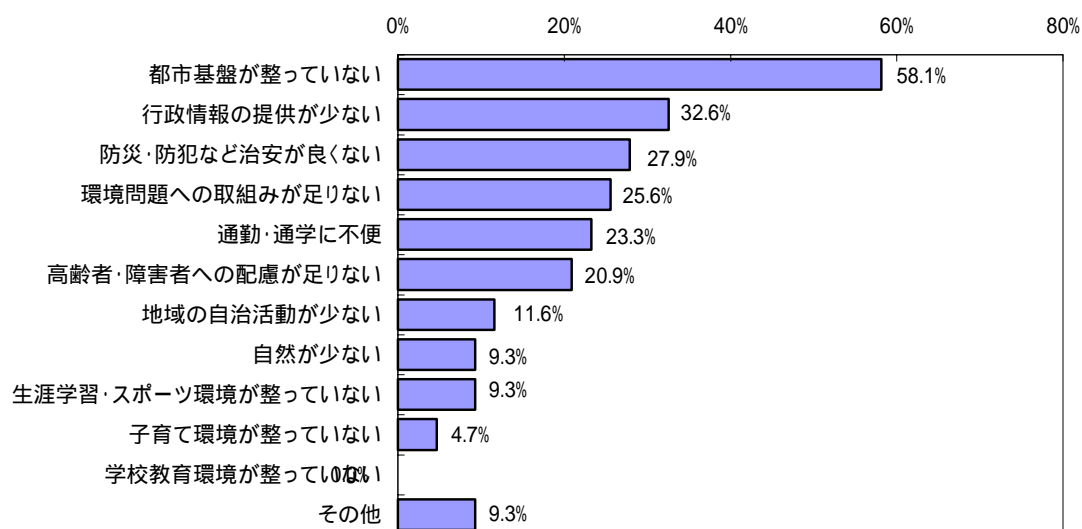


(4) 家族構成別クロス集計 問9「住み心地が悪い点」

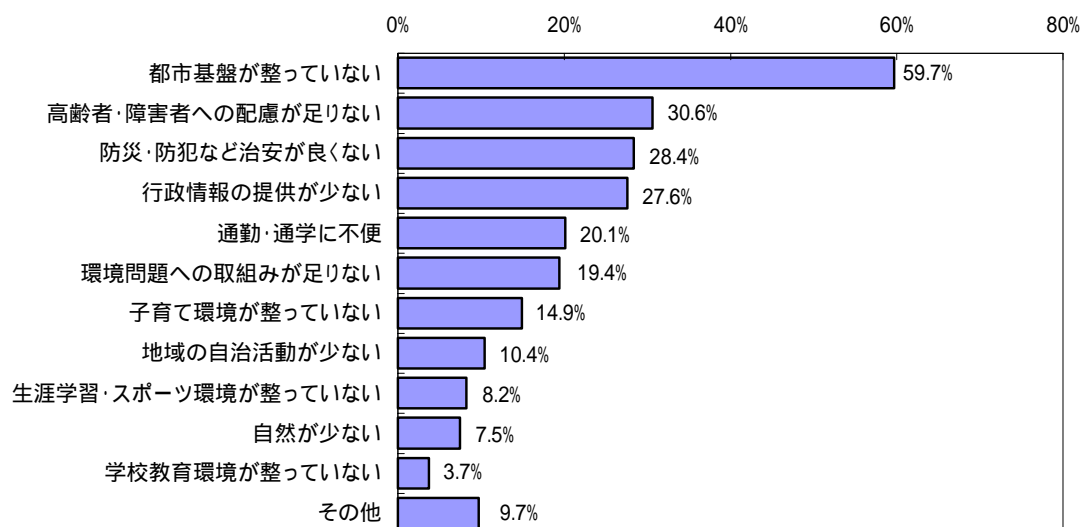
住み心地が悪い点は、どの家族構成も「都市基盤が整っていない」が第1位回答であり、「単身世帯」「夫婦のみ世帯」「親子世帯」では、他の理由を大きく上回った。

第2位回答は、「単身世帯」では「行政情報の提供が少ない」、「夫婦のみ世帯」では「高齢者・障害者への配慮が足りない」、「親子世帯」と「親子孫世帯」では「通勤・通学に不便」であり、家族構成によって差異が見られた。

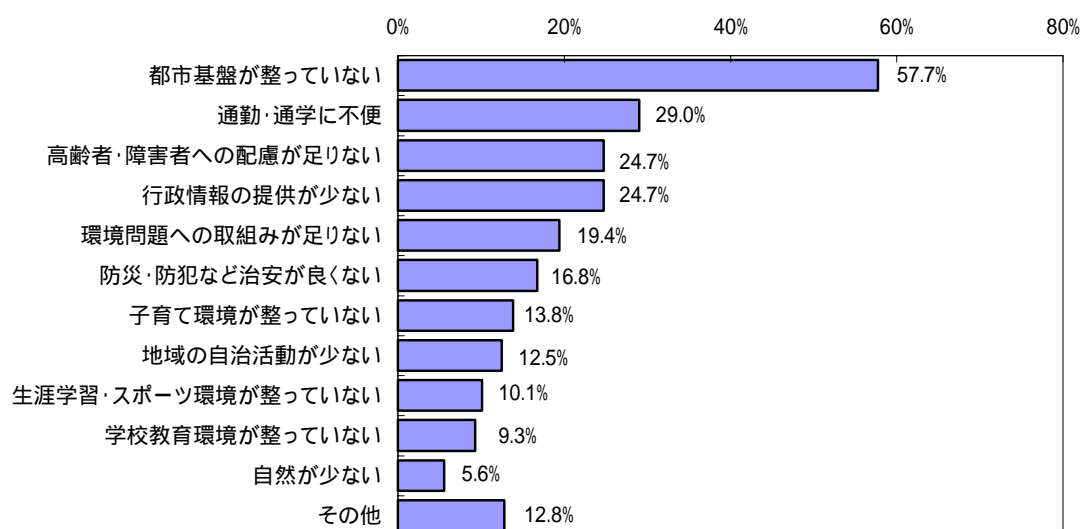
単身（ひとりぐらし）世帯



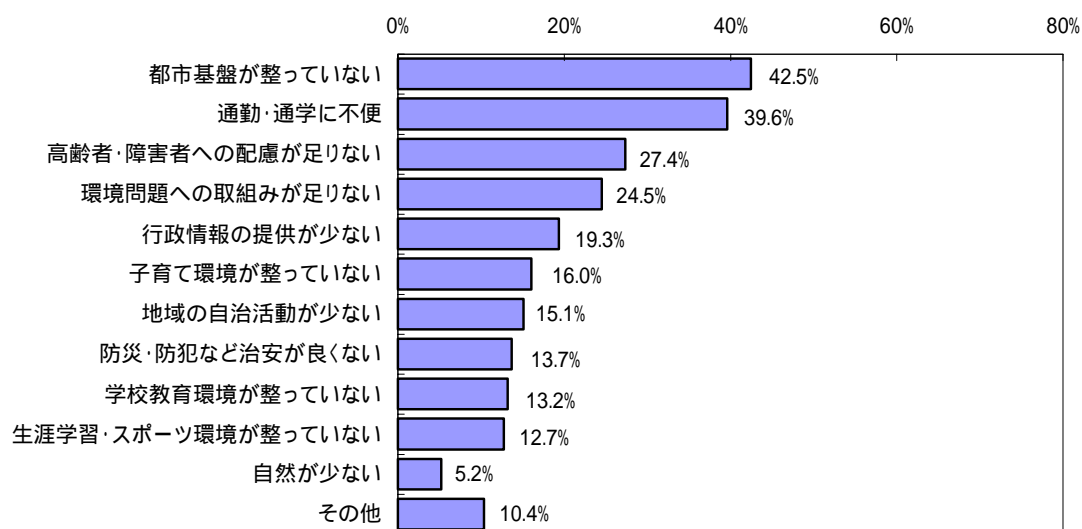
夫婦のみ（1世代）世帯



親子（2世代）世帯



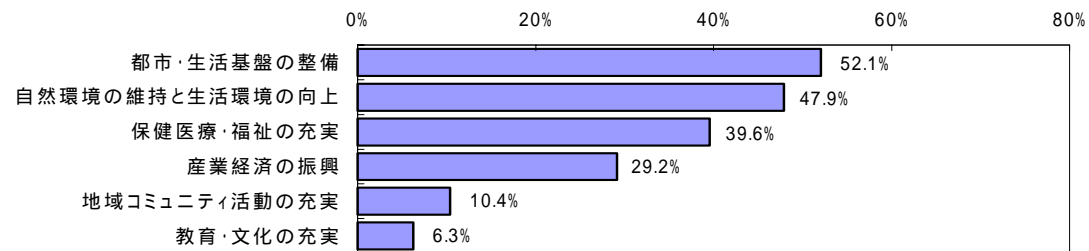
親子孫（3世代）世帯



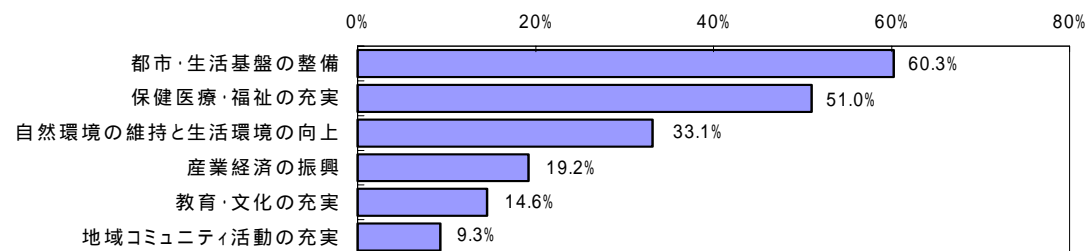
（５）家族構成別クロス集計 問１０「今後優先すべき分野」

「単身世帯」「夫婦のみ世帯」「親子世帯」では、「都市・生活基盤の整備」が第１位回答であった。「親子孫世帯」では、「保健医療・福祉の充実」が第１位回答であり、差異が見られた。「単身世帯」では「自然環境の維持と生活環境の向上」の割合が、他の世帯に比べて高かった。

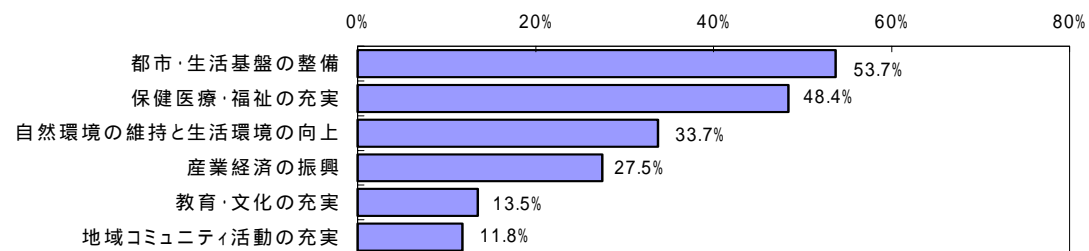
単身（ひとりぐらし）世帯



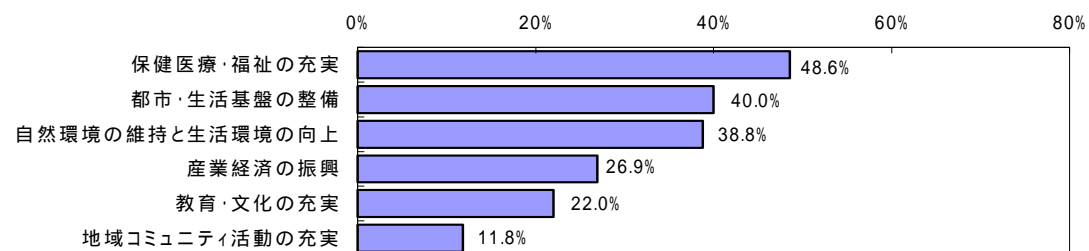
夫婦のみ（１世代）世帯



親子（２世代）世帯



親子孫（３世代）世帯



（６）家族構成別クロス集計 問１１「施策の優先度」

「優先すべきである」と「やや優先すべきである」を合計した「優先」から、「あまり優先しなくてよい」と「優先しなくてよい」を合計した「非優先」を差し引き、これを優先度とみなして回答結果を把握した。６分野の家族構成別「施策の優先度」は下記の結果となった。

都市・生活基盤の整備（項目１～５）

都市・生活基盤の整備の５項目は、「単身世帯」では「５.汚水処理の充実」「４.良質な水道水の供給」「３.公共交通の充実」の順番で優先度が高かった。

「夫婦のみ世帯」と「親子孫世帯」では「５.汚水処理の充実」「４.良質な水道水の供給」「１.計画的な市街地整備」の順番、「親子世帯」では「５.汚水処理の充実」「１.計画的な市街地整備」「４.良質な水道水の供給」の順番で優先度が高かった。

自然環境の維持と生活環境の向上（項目６～１０）

自然環境の維持と生活環境の向上の５項目は、「単身世帯」「親子世帯」「親子孫世帯」では「１０.防犯・交通安全対策の充実」「９.防災機能の向上」「７.リサイクルの推進」の順番で優先度が高かった。

「夫婦のみ世帯」では「１０.防犯・交通安全対策の充実」「９.防災機能の向上」「６.自然環境の保護」の順番で優先度が高かった。

「単身世帯」では、他の家族構成に比べて「８.公園・緑地の充実」の優先度が高かった。

保健医療・福祉の充実（項目１１～１５）

保健医療・福祉の充実の５項目は、「単身世帯」では「１４.子育て支援策の充実」「１３.障害者福祉の充実」「１２.高齢者福祉・介護支援の充実」の順番で優先度が高かった。

「夫婦のみ世帯」「親子世帯」「親子孫世帯」では「１２.高齢者福祉・介護支援の充実」「１４.子育て支援策の充実」「１３.障害者福祉の充実」の順番で優先度が高かった。

この「保健医療・福祉の充実」分野の平均優先度は、全ての家族構成で他の分野に比べて最も高かった。

教育・文化の充実（項目１６～２０）

教育・文化の充実の５項目は、全ての家族構成とも「１７.健全な青少年の育成」「１６.学校教育・教育環境の充実」「１８.生涯学習の充実」の順番で優先度が高かった。

なお、各家族構成とも、「１９.文化・芸術活動の充実」「２０.生涯スポーツの充実」の優先度は他の項目に比べて低く、「単身世帯」では「１９.文化・芸術活動の充実」はマイナス値であった。

産業経済の振興（項目 21～25）

産業経済の振興の 5 項目は、「単身世帯」では「23. 商業振興」「25. 雇用機会の提供」「22. 工業振興」の順番で優先度が高かった。

「夫婦のみ世帯」と「親子世帯」では「25. 雇用機会の提供」「23. 商業振興」「22. 工業振興」の順番、「親子孫世帯」では「25. 雇用機会の提供」「23. 商業振興」「21. 農林業振興」の順番で優先度が高かった。

「単身世帯」は、「23. 商業振興」と「24. 観光振興」の両者の優先度が、他の家族構成に比べて高かった。

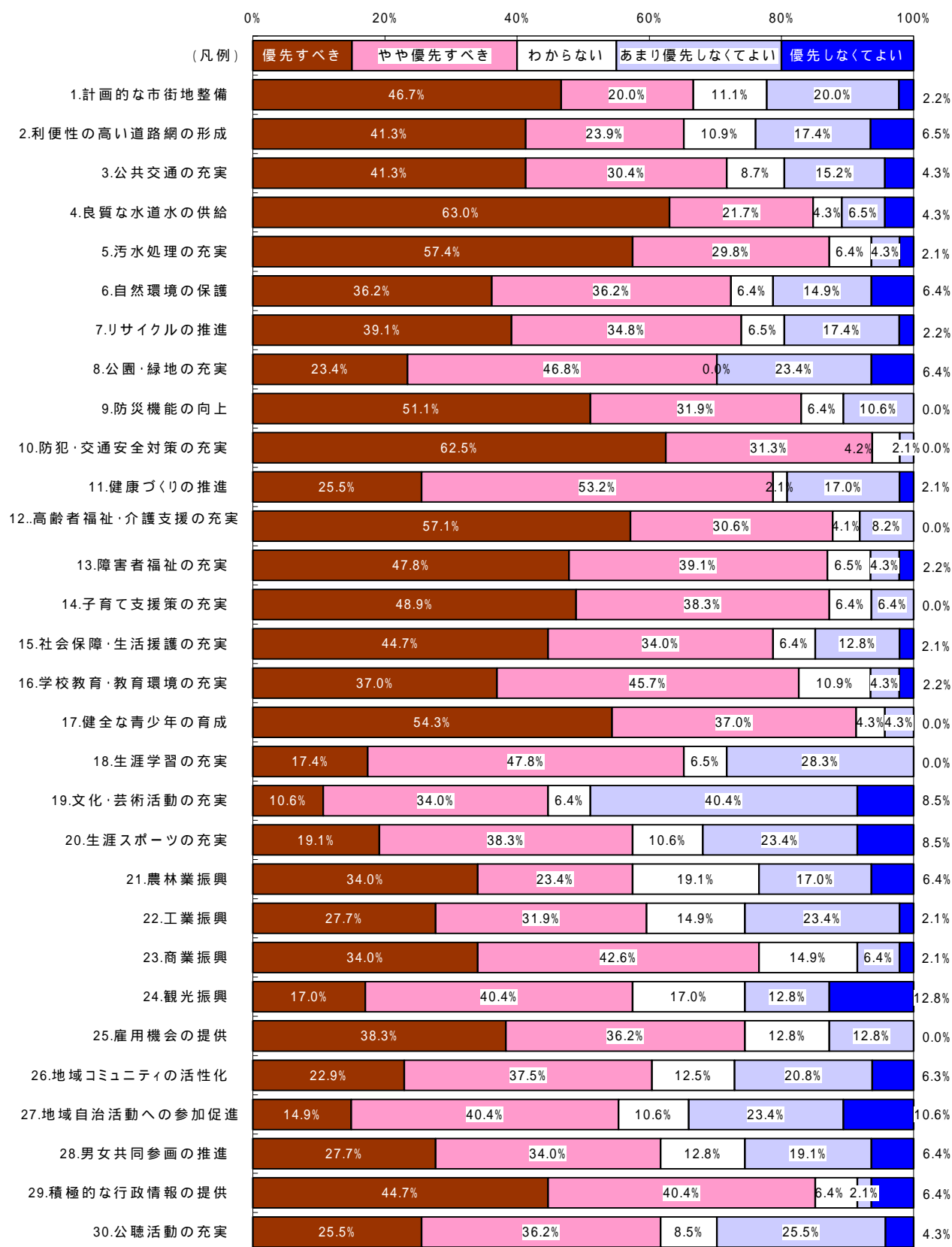
地域コミュニティ活動の充実（項目 26～30）

地域コミュニティ活動の充実の 5 項目は、「単身世帯」では「29. 積極的な行政情報の提供」「28. 男女共同参画の推進」「26. 地域コミュニティの活性化」の順番で優先度が高かった。

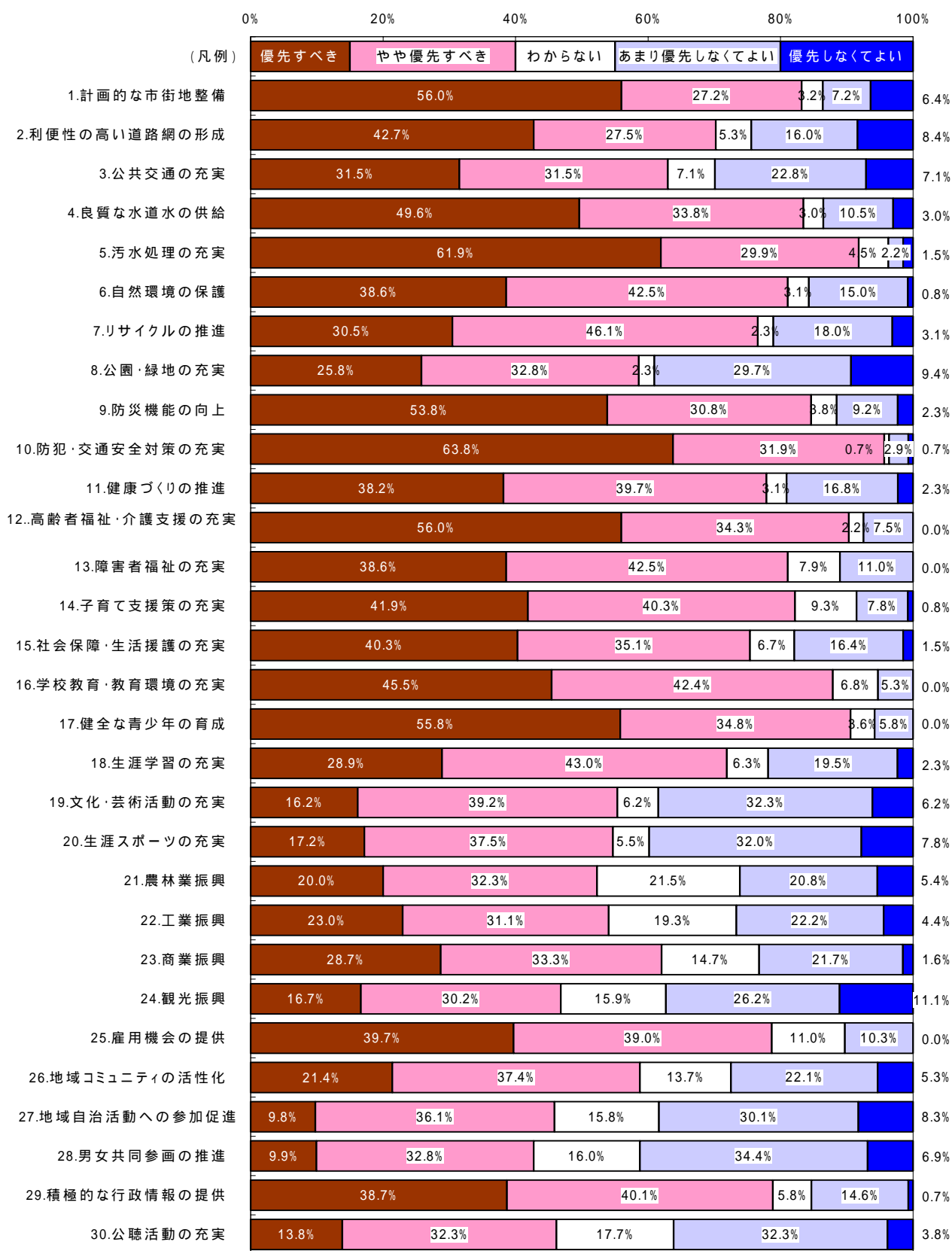
「夫婦のみ世帯」「親子世帯」「親子孫世帯」では「29. 積極的な行政情報の提供」「26. 地域コミュニティの活性化」「30. 公聴活動の充実」の順番で優先度が高かった。

この「27. 地域自治活動への参加促進」や「28. 男女共同参画の推進」は、「単身世帯」が他の家族構成に比べて高かった。なお、この「地域コミュニティ活動の充実」分野の平均優先度は、どの家族構成も他の分野に比べて最も低かった。

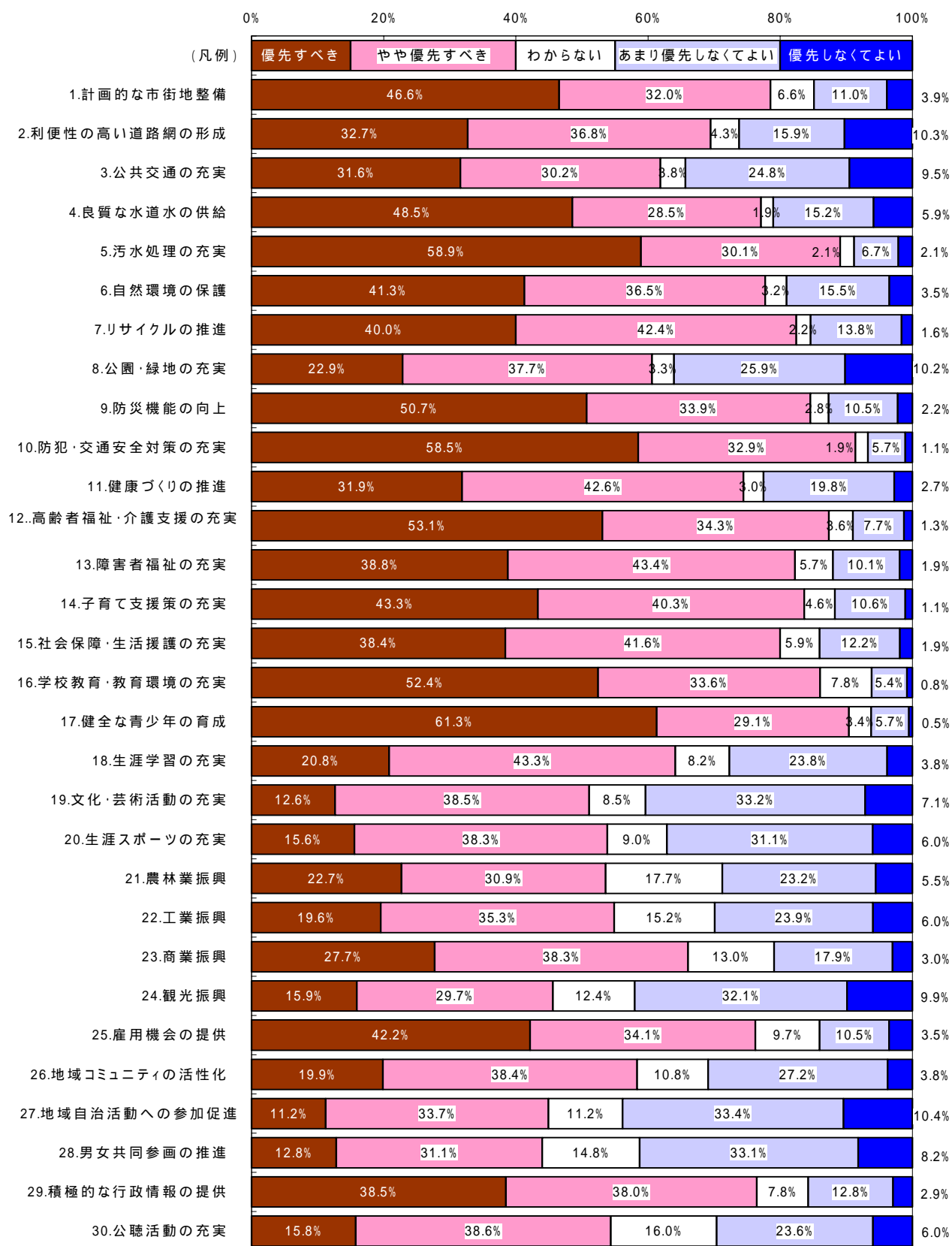
単身（ひとりぐらし）世帯の「施策の優先度」



夫婦のみ（１世代）世帯の「施策の優先度」



親子（２世代）世帯の「施策の優先度」



親子孫（3世代）世帯の「施策の優先度」

